

# bibligare

● まちなか図書館情報紙——[ビブリガーレ]

世界を広げ、まちづくりに繋げる  
“知と交流の創造拠点”

まちなか図書館情報紙「bibligare」とは  
bibliは「本」、ligareは「つながる」を意味し、  
本を通して人、街に繋がる図書館をイメージした造語です。

特集1

—— まちなか図書館  
ユーザーにきいてみた!  
みんなの図書館利用術

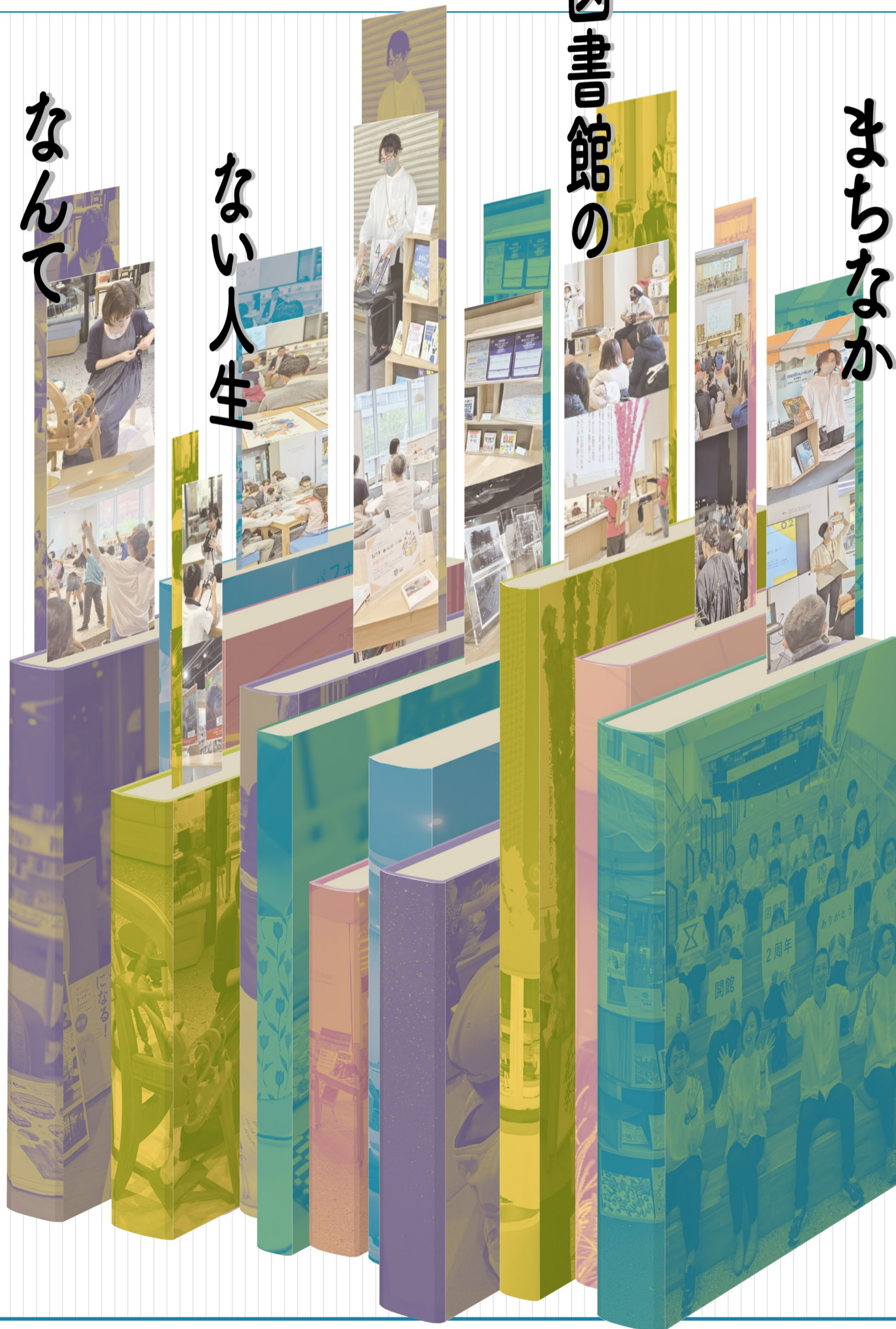
特集2

—— 漫画家・津島つしまさん  
インタビュー

特集3

—— 世界を広げる窓  
特集棚ができるまで

● 発行＝豊橋市



なんて

ない人生

図書館の

まちなか



bibliogare  
コラム



旅に出るなら図書館へ。

一期家二笑 杉浦大西洋

こんにちは。豊橋市の片隅で、小さな八百屋を営んでいる杉浦大西洋と言います。大西洋と書いて、「ひろし」と読みます。親父が、世界へ飛び立てるようにと名付けてくれました。

二十代のころには、世界を広げたいともい、一人旅をよくしていました。インドに行ったり、アメリカのお墓の前でカツアゲされたり、アメリカに行つてスーパーマーケットの店員さんをナンパしたり、自転車にまたがって日本中を回ったりなんて

世界を  
広げる窓  
特集棚が  
できるまで

パツと思いついた言葉を画面に打ち込んでクリックすれば、サクッと知りたことが分かる便利な世の中になってほしい。そんな経緯がありました。ピンポイントに探すならネットの海から1本釣りをした方が効率が高そうですね。でも、ネットの情報だけでは足りないこともあるのではないのでしょうか。そんな時は図書館の出番です。棚に並んでいる本をブラウジングしていると、検索しても出てこなかった面白そうな本が見つかった経験、ないですか？ まちなか図書館では、見つけられそうで見つけられないテーマの本を集めてお見せしています。聞かれてもいないのにお探しの本はこれですかと差し出す、いわばプッシュ型のレファレンス。それが「特集棚」です。では、どんな風を作っているのか流れを簡単に紹介します。

1 テーマを考える

自分では探せなかった！こんな本に出会えたかった！と感じてもらえるトピックを考えます。人間司書にしかできない発想力が試されるので、ここがいちばん時間をかけるところです。



2 資料を集める

お探しのテーマにはこんな本がありますよ、とブックリストを作成するつもりで色々な角度から使用可能な本を探します。読書案内やレファレンスサービスに似ています。

3 ことばをつくる

特集のタイトルや紹介文を考えます。テーマの肝が伝わるようにフレーズや言葉のチョイスを吟味します。本を作るときタイトルや帯文を考えることに近いかもしれません。

4 サイン(看板)をつくる

本の表紙をつくるようにサインをデザインします。著作権フリーのイラストや画像だけでなく、プライベートの写真ストックを使う担当者もいます。ここはセンスや個性が如実に表れます。

5 特集棚をつくる

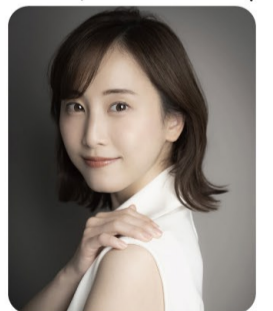
棚板を足したり引いたり、上げたり下げたり。木枠の中に小物を置いてみたり。ショーウィンドウを創っているつもりで仕上げます。



毎月このように5人の司書が、みなさまが来館するたびに「思いがけない本」や「発想の羽を広げる本」に出会えることを期待して特集棚に取り組んでいます。開館から今までに組んだ特集は200以上になりました。今後も、ググっても出会えなかった情報や物語が詰まった本たちをみなさまに紹介していきたいと思えます。ぜひ、まちなか図書館の「世界を広げる窓」を覗きにきてください。

松井玲奈さんコーナーの紹介

「スペシャルライブラリアン」として、まちなか図書館と豊橋の魅力を発信してくれている松井玲奈さん。そんな松井玲奈さんに選んでいただいた本が並ぶコーナーがあるのをご存知ですか？ W12の棚で展開されています！現在の様子をお見せします！



選書マエ

選書リスト

岩とからあげを  
まちがえる

■大前葉生/著  
■ちいさいミシマ社 ■2020年12月

桃を煮るひと

■くどうれい/著  
■ミシマ社 ■2023年6月

わるい食へもの

■千早茜/著  
■ホーム社 ■2018年12月

西洋菓子店  
フレイフル

■千早茜/著  
■文藝春秋 ■2019年2月

いとしいたへもの

■森下典子/著  
■文藝春秋 ■2014年5月

BUTTER

■柚木麻子/著  
■新潮社 ■2020年2月

肉食主義者

■ハンガン/著  
■きむふな/訳  
■クオン ■2011年5月

選書コメント  
タイトルに、物語の中に、エッセイの中に、食べ物が出てくる作品を集めました。「食」が取りあげられた作品は、実体験とも重ね合わせることができ、身近に感じてもらえるかもしれません。「食」から広がる読書体験を楽しんでいただけたら幸いです。

変わる、なんてこともあったりします。そして、やっぱり知らない世界がどんどん広がっていくと感ずるのです。ほくにとって、世界中を旅することと同じくらい刺激的で大切な時間が図書館の扉の向こう側に広がっています。まちなか図書館に足を運ぶとき、それは世界を広げる旅に出ようとしているのかもしれない。

私の一冊……  
僕がコントや  
演劇のために  
考えていること

■小林賢太郎/著  
■幻冬舎 ■2014年9月  
40代になって、これからどうしようかと悩んでいる時に出会い、背中を押してもらった一冊です。



詳しい内容については、ホームページをご覧ください。

「豊橋市まちなか図書館」で検索

各種サービス

所在地……  
豊橋市駅前大通二丁目81番地  
emCAMPUS EAST  
2階(3階)

開館時間……  
9時~21時

休館日……  
第4金曜日(祝日のときは前日)

年末年始、特別整理期間  
お問合せ……  
電話 053-221-5518

まちなか図書館